

新潟大会のお礼

第76回指定都市小学校長会研究協議会

新潟大会会長 吉田 亨

第76回指定都市小学校長会研究協議会新潟大会が、11月10日・11日の二日間に渡って開催され、盛会のうちに無事終了することができました。厚くお礼を申し上げます。

また、新潟市長 中原八一様 代理 新潟市理事 三富健二郎様、新潟市教育委員会教育長 井崎規之様、全国連合小学校長会会長 大字弘一郎様のご臨席を賜りましたことに心より感謝申し上げます。

本大会では、「新たな未来を構想し、ポストコロナ時代の教育を創出する学校経営の推進」を大会主題として、大都市が直面する教育上の諸問題の解決に向け、校長の果たすべき役割と指導性について討議を深めることができました。どの分散会や部会からも校長先生方の熱意が伝わってまいりました。また、2日目の全体研究会では、株式会社ディー・エヌ・エー代表取締役会長の南場智子様から「事業家として教育を考える」という演題でご講演をいただきました。

今回の新潟大会の開催に当たっては、令和2年度・堺大会の誌上発表、令和3年度・熊本大会のリモート開催とたすきをつなぎ、3年ぶりの対面で、実りの多い大会となるよう準備を進めてまいりました。コロナ禍の中、残念ながら交流会は通常通りにできなかったものの、伝統芸能鑑賞会という形で新潟らしさを披露することができたと思っております。新潟のおもてなしの気持ちが、皆さまの心に届いていましたら幸甚に存じます。

今年の夏、日本三大花火の一つの長岡花火大会が3年ぶりに開催されました。その前夜祭として、8月1日の長岡の夜空に一筋の光がゆっくりと上がり、白一色の花を夜空に咲かせました。玉名を「白菊」と言います。77年前の長岡空襲が始まった時刻（午後10時30分）に合わせて、空襲で亡くなられた方々への慰霊、復興に尽力した先人への感謝、恒久平和への願いを込めて、尺玉3発が打ち上げられました。「慰霊、復興、平和への祈り」という思いを未来にしっかりと伝え、歩み出すときがきたのです。

本大会を通じて、子どもたちが社会で活躍する10年後、20年後を構想し、ポストコロナ時代の学校教育の在り方を考え、新しい時代の学校経営を推進する決意を新たにしているところです。

結びに、本大会の開催に当たりご理解ご支援を賜りました関係各位の皆さまに心より感謝申し上げますとともに、次年度77回目を迎える浜松大会の成功と皆さまのご健勝を祈念申し上げ、お礼の挨拶といたします。二日間に渡り、本当にありがとうございました。